

8-4-37 環境配慮専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 環境配慮専門委員会の開催

専門委員会は11回開催した(面談及びWeb併用方式9回、Web方式2回)。

(2) マネジメントセミナーの講演

令和7年10月3日に開催されたセミナーでは、『「サステナビリティ経営の実践」に向けて～会員企業のモニタリング調査とSDGsを取り入れた企業経営のあり方～』と題して、最初に、建設コンサルタントの捉えるサステナビリティ経営の基本項目を説明し、国が目指す持続可能な姿を明らかにした。一方、建設コンサルタントにおいて、EMSに限界がきており、サステナビリティ経営が実効性あるマネジメントシステムとして展開することの必要性を述べた。

本セミナーでは「会員企業のモニタリング調査」と「EA21やSDGsを取り入れた企業経営のあり方」を明らかにすることによって、サステナビリティ経営の新たな枠組(案)を提案し、各会員企業が企業統治するヒントを探り、環境経営の価値を高め、経営システムに取り入れるための一助とすることを本セミナーの発表構成とした。

サステナビリティ経営の新たな枠組(案)では、①業務における環境配慮～環境に配慮した業務実施のシステムづくり～として、企業におけるCO2排出量削減の貢献事業の整理、エネルギー効率向上・緑地や水辺の整備や生物多様性の保全などの業務実施、カーボンニュートラルに関する技術勉強会の開催、環境配慮技術を活かした海外事業の実施、②経営における環境配慮～【社外向け】企業価値を高める事業実施のシステムづくり～として、建コン企業を事務局とした地域の社会貢献活動(SDGs自主事業としての位置付け)、技術的なノウハウを活用した出前授業(地元の子供たちを対象とした学習会)、③経営における環境配慮～【社員向け】持続可能な目標達成のシステムづくり～として、会社

の各部門でのSDGsゴールの明示と数値目標達成に向けた業務実施、ESG経営の一環としての定量的目標(温室効果ガス排出量の削減)や定性的目標(リスクと機会)の設定を提案した。

(3) 勉強会の開催

令和8年1月29日、一般社団法人CSV開発機構理事長、シェアードバリュー・コンサルティング代表の水上武彦氏に「サステナビリティ経営の基本と実践」について、ご講演いただいた。講演では、サステナビリティ経営の基本となる背景から、企業における実践方法までを幅広くご説明いただいた。特に、地球の再生能力の限界(プラネタリーバウンダリー)や気候変動、格差の拡大といった社会課題の現状と、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブなどの重要なキーワードの繋がり、企業がサステナビリティに取り組む際の3つの原則(負の影響への責任、正の影響での貢献、財務・企業価値向上への戦略的対応)を示し、財務影響と社会へのインパクトの両面から重要課題を特定する「ダブルマテリアリティ」の考え方などを丁寧にご説明いただいた。

講演後は、建コン企業のサステナビリティ経営について、意見交換を行った。

2. 次年度の活動について

- ・マネジメントセミナー：カーボンニュートラルやグリーンインフラに関するマネジメント側面や企業のサステナビリティ経営に関する情報発信
- ・勉強会、講演会の企画・開催による「サステナビリティ経営」に関する理解や意識啓発
- ・国や地方公共団体、民間企業のSDGsに関連する政策、施策、事業の研究
- ・アンケートやヒアリング調査を行い、建コン企業の課題と取り組みを把握

(環境配慮専門委員会委員長 諸藤 聡子)